

科目名 (Eng)		情報処理演習 (Information Processing Practice)							
担当教員		脇田 淳一							
対象学年等		学科・学年		授業期間・区分・単位数・時間数			分野	形態	学修単位科目
		コミュニケーション情報 学科	3	前期	必修	1	(30)	専門	C
目標基準との対応		福島高専の教育目標との対応：(B-2). (B-3). (B-4数). 卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応：5). 6).							
授業の概要と方針		情報処理に必要な数学手法の基礎を学ぶ。							
到達目標		①統計データの収集・整理方法を学習する。 ②統計データの処理方法を学習する。 ③経済・経営学に関連した情報分析を実践的に学習する。							
授業計画									
	週	授業項目	理解すべき内容				準備学習		
前期	1	導入	コンピュータを利用した情報収集・処理の基礎				e-classを用いて課題を提出する。 次の単元を予習する。		
	2	わが国の統計制度と経済統計の種類(1)	統計データの種類						
	3	わが国の統計制度と経済統計の種類(2)	統計データの収集法						
	4	経済統計分析の基礎(1)	平均						
	5	経済統計分析の基礎(2)	分散・標準偏差						
	6	人口統計の見方・使い方(1)	人口静態統計						
	7	人口統計の見方・使い方(2)	人口動態統計など						
	8	中間試験							
	9	国民所得統計と経済分析の基本特性(1)	国民所得統計の用語				e-classを用いて課題を提出する。 次の単元を予習する。		
	10	国民所得統計と経済分析の基本特性(2)	国民所得統計を用いたグラフ作成						
	11	経済指数の理論と実際(1)	物価に関連した各指数						
	12	経済指数の理論と実際(2)	Excelによる経済指数分析						
	13	経済指数の見方・使い方(1)	消費者物価指数						
	14	経済指数の見方・使い方(2)	企業物価指数・鉱工業生産指数						
	15	主成分分析の理論と応用	主成分分析の基礎理論						
試験について		中間試験は授業時間中に50分間の試験を実施する。期末試験は50分の試験を実施する。							
評価方法		課題・小テストを70%、定期試験を30%とする。							
教科書		『Excelによる経済分析入門』井出真弘・産業能率大学出版部							
参考書									
関連科目									
履修上の注意		毎回、授業の理解度を確認するため小テストまたは課題を出す。							